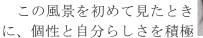
国際交流員

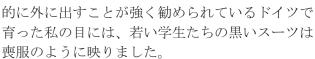
ルイーザさんの

カラフルでいこう!

MORIY

日本の就職活動は一言でい うと「黒」です。より正確に いえば、束ねた黒い髪に黒い スーツ、黒いバッグと黒い靴 という格好の多くの大学生の 姿です。





もちろん、黒い服装はシンプルで真面目という印 象を与えるので、面接試験の場合は無難な選択に 違いありません。ただし、社会生活の場で活躍す る多くの日本人の服装は、もう少しカラフルになっ てもいいとも思います。ハップ家の父も黒いスーツ とワイシャツで出勤することが殆どなく、灰色や紺 色のスーツに水色や黄色いシャツの方が多いです。

仕事の場ではカラフルな服装があまり好ましく なくても、少なくとも子どもが自信を持って好き な服装を着られる環境を作るべきではないかと思 います。実は、洋服が大好きな小さい日本人の友 人がいますが、カラフルな服装を着る度に周りに 少し批判的な目で見られ、意味ありげに「今日も 派手だね」と言われるそうです。制服を着用する 習慣が幅広く根付いている日本では「派手=良く ない」のようですが、私は子どもなら派手でいい と思います!「ルイーザの派手(そしてたまにダ サい) 洋服コレクション」という題名の写真アル バムが作れる程、子どもの頃はいろいろな服を着

てみました。

今でもよく覚えているのは 小学校 6 年生のときに紫色の シャツに紫色のジーンズ、つ まり全身紫色という格好で登 校したことです。人間サイズ の"なす"になりました。最 高の一日でした。

大人になってさすがに私も「なすスタイル」を 諦めたものの、今でも周りに不思議に思われそう な服を着て出勤するときが時々あります。それは 自分のスタイルを貫いているというのもあります が、「ドイツのカラフル文化の紹介」としてもやっ ています。時々はやり過ぎかも!? そのときは 許してくださいね (笑)。

Residency for Artists, Experiments for Locals, Moriya, Ibaraki

現在のアート・芸術文化を守谷から。

- ●問合先 アーカススタジオ(もりや学びの里内) 日・月曜日休館 ☎46-2600 (10:00~18:00) ⊠ arcus@arcus-project.com
 - ◎詳細な情報はアーカスプロジェクトで検索!

◎アーティスト帰国

8月25日に来日した 招へいアーティスト たちは守谷での110 日間の滞在制作を終 え、12月12日(月)に帰 国です。彼らのプロ ジェクトに協力してく



また会いましょう!

ださった皆さん、ありがとうございました。今回 の滞在での新たな挑戦が今後の彼らの制作にどう 影響をもたらすかが楽しみです。

◎オープンラジオ冬の陣

88. OMHz@もりやクリスマスファンタジー



毎年恒例の微弱電波を利 用したオープンラジオを、 もりやクリスマスファンタ ジーの会場で開催します。 視聴だけでなく、多くの方 の飛び入り参加をお待ちし ています。

- ●日時 12月23日金 17:00~19:00頃
- ●会場 守谷駅西口駅前広場
- ◎過去招へいアーティストの活躍 オズギュル・デミルジ(12年度)

Hürriyet Daily Newsが発表 したトルコのアートシーンにお いて注目すべきアーティスト15 人のうちの1人に、デミルジ氏 が選ばれました。



彼が30歳のときに守谷で制作

した「The Tuners」というビデ▲Özgür Demirci オインスタレーションは、車の改造や、それを走 らせる行為が、社会のシステムや規範に抵抗する ものとして機能しているか、という疑問が発端で した。過去に暴走族のメンバーだった人や車やバ イクの改造を行う人々にインタビューし、彼らの 行為が必ずしも反社会、反制度的な態度の表現で はなく、法律や社会の規範の中で、あるいはその ギリギリの境界線上で行われる趣味であるという こと、彼らの葛藤や矛盾などを見出し、表現しま した。